

モニタリング  
データシート

農用地

第4回千葉県国土利用計画地方審議会調査検討部会

平成21年7月24日

## ①農用地

### 規模の目標

単位：h a

〈基準年次 H16〉	〈規模の目標 H29〉
135, 100	130, 100

### 現状と課題

農用地は食料生産の基盤として県民の豊かな生活を支えており、農業は本県の主要な産業として、農業産出額において常に全国の上位を保っています。しかしながら近年、農業産出額は横ばいに推移しており、平成18年の農業産出額は4, 104億円となっています。また、農用地の面積は減少傾向で推移しており、平成18年現在で約13万2, 100h a、県土全体の26%となっています。

農用地・農業をめぐるのは、生産者の高齢化や担い手不足、農産物価格の低迷等による農家数の減少や耕作放棄地の増加、さらには都市的土地利用に伴う農用地面積の減少等、多くの課題への対応を図り、生産性の向上が求められています。一方で農用地は、農業生産活動が行われることにより、多様な生物の生息の場所になり、自然環境の保全や雨水を一時的に貯え、洪水を防止する等、県土の保全に役立つほか、良好な景観の形成、都市部における緑・ゆとりのある空間の保全等、多面的な機能についての重要性も認識されてきており、また、市民農園、観光農園等による農業体験や都市と農村の交流を深める場として、県民の関心が高まっています。

### 施策の方向性

輸入農産物による国際化の波にも対抗できるよう、農業の担い手の確保や農地の利用集積を図り、農業経営の基盤を強化するとともに、小規模農家や女性農業者等についても、農産物等をはじめとする地域資源を活用し、所得の向上を図っていけるような環境を整え、耕作放棄地の発生の防止にも努めていきます。

また、農地法による農地転用許可制度等の適正な運用により無秩序な農地転用を抑制しつつ、農用地利用計画の見直し等を通じて、農業生産性の向上に向けた食料生産の基盤としての農地の保全を図っていきます。そして、将来にわたり農業の持つ多面的機能が発揮されるよう、地域住民や都市住民等の多様な主体による農用地の保全や管理への参加を促進し、地域農業の維持発展を目指していきます。

### 面積の根拠

#### ○算出方法

農用地 = 農地（田・畑） + 採草放牧地

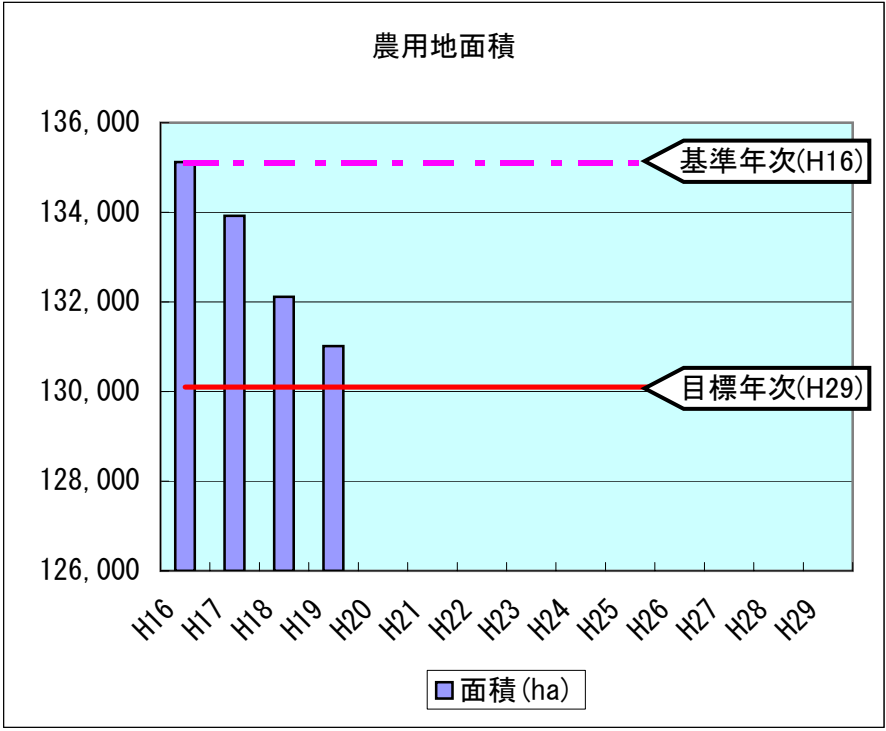
#### ○出典

農地 : 農林水産統計（農林水産省）

採草放牧地 : 農林業センサス【農山村地域調査】（農林水産省）

**面積の推移**

	面積 (ha)
H16	135,122
H17	133,922
H18	132,111
H19	131,011
H20	
H21	
H22	
H23	
H24	
H25	
H26	
H27	
H28	
H29	



データの集計方法	調査年までの累計	データ推移の目標方向	→
----------	----------	------------	---

**農用地の状況**

平成22年度	
平成24年度	
平成26年度	
平成28年度	

## モニタリング総括表（農用地）

施策の方向性	取組	モニタリング指標	指標の出典	統計頻度	データシート	データ目標	モニタリング結果			
							22年度	24年度	26年度	28年度
・農業生産、農業経営の基盤強化	・農業経営の大規模化、担い手の確保	・認定農業者数	・農業経営改善計画の認定状況（農林水産省、千葉県）	毎年	1	↗				
		・農業従事者数・平均年齢	農林業センサス（農林水産省）	5年	2	↗				
		・主業農家数	農林業センサス（農林水産省）	5年	3	↗				
	・高所得農業の推進	・ハウス等園芸施設面積	・園芸用施設の設置状況調査（生産販売振興課）	2年	4	↗				
		・農業産出額	・生産農業所得統計（農林水産省）	毎年	5	↗				
		・生産農業所得	・生産農業所得統計（農林水産省）	毎年	6	↗				
		・農業経営費（農家1戸あたり）	営農類型別経営統計調査（農林水産省）	毎年	7	↘				
	・農地の利用集積の促進	・農地利用集積面積	・担い手支援課調	毎年	8	↗				
	・生産条件の確保	・農振農用地区域面積	・農地業務年報（農地課）	毎年	9	-				
		・ほ場整備面積	・千葉県の農業農村整備（耕地課）	毎年	10	↗				
・農地の保全、利活用	・千産千消の取組	・農林水産物直売所年間販売額	・農林水産物直売所実態調査（農村振興課）	毎年	11	↗				
	・多様な主体による地域農業づくり	・農村女性の起業経営体数	・担い手支援課調べ	毎年	12	↗				
	・千葉県型集落営農の実施	・千葉県型集落営農実施数	・担い手支援課調べ	毎年	13	↗				
	・新規就農者を増やす取組み	・新規就農者数	・担い手支援課調べ	毎年	14	↗				
	・耕作放棄地の発生防止	・耕作放棄地面積（総数）	農林業センサス（農林水産省）	5年	15	↘				
	・多様な主体による農地の保全、利活用（都市と農村の交流、市民農園等）	・農地・水・環境保全向上対策事業による集落協定締結面積	・農村振興課調べ	毎年	16	↗				
		・農林漁業体験施設数	・農林漁業体験施設等実態調査（農村振興課）	2年	17	↗				
		・市民農園面積	・市民農園開設状況調査結果（農村振興課）	毎年	18	↗				
	・耕地利用の推進	・耕地利用率	・耕地及び作付面積調査（農林水産省）	毎年	19	↗				
		・経営耕地面積	・農林業センサス（農林水産省）	5年	20	↗				
		・農地転用面積	・土地管理情報分析調査（農林水産省）	毎年	21	-				
		・ちばエコ農産物認証面積	・安全農業推進課調べ	毎年	22	↗				
・市街化区域内農地の維持	・市街化区域内農地の保全	・市街化区域内農地面積	・固定資産の価格等の概要調書（市町村課）	毎年	23	→				
	・生産緑地の保全	・生産緑地面積	・都市計画年報（国土交通省）	毎年	24	→				
	・市民農園の整備	・市民農園面積（再掲）	・市民農園開設状況調査結果（農村振興課）	毎年	25	↗				

※『データ目標』は、各指標の数値が矢印の方向へ増加又は減少していれば、良好な状態に推移していると考えられるので、その目安として表示しています。

※『モニタリング結果』は、直近のデータと比較したときの指標数値の変化を表示しています。